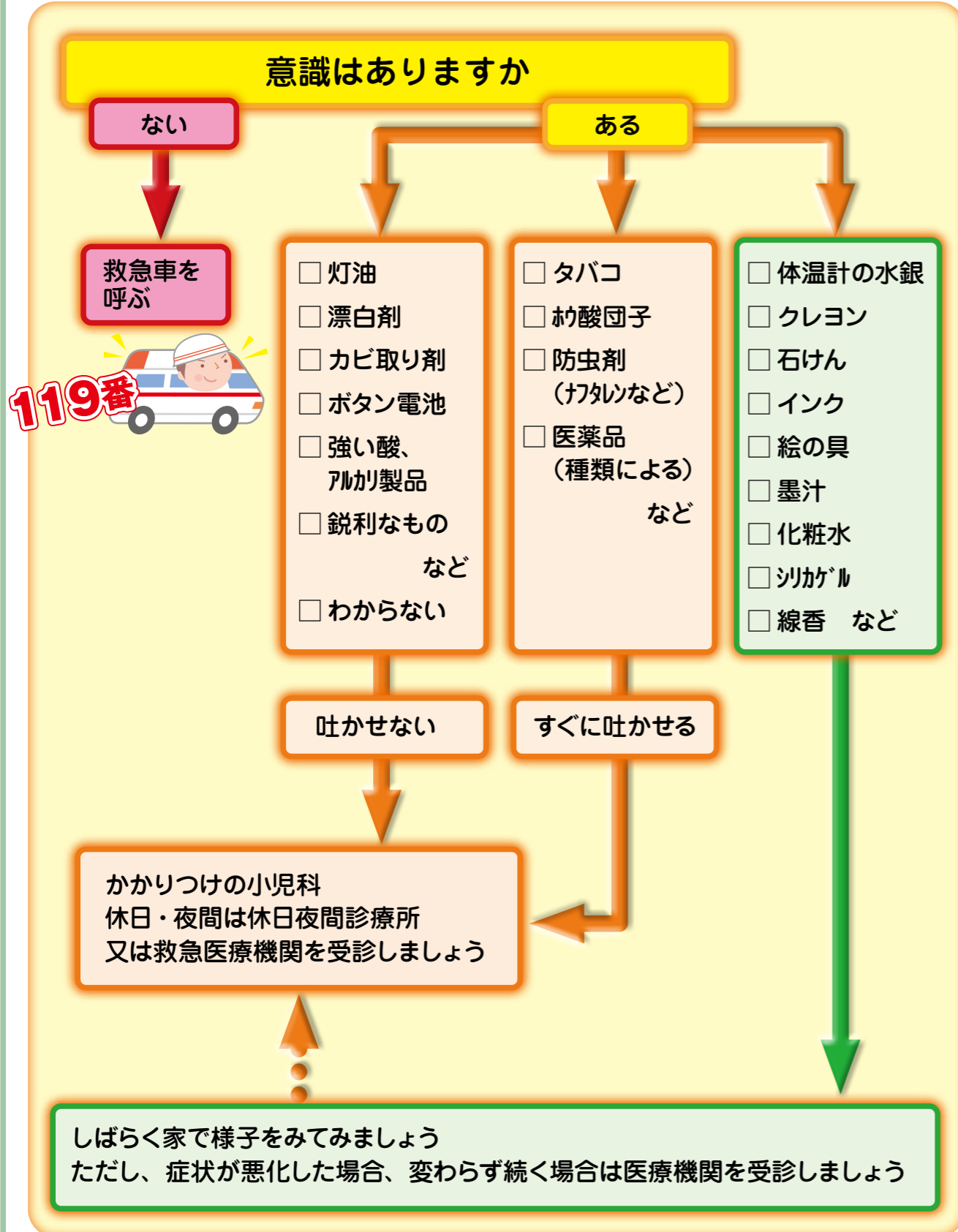


誤飲 (タバコなど)



お子さんの次の症状を観察し、医療機関受診の参考にしてください。



誤飲した！

子どもが、飲み込むと危険なものを飲み込んだ場合を誤飲といいます。家庭の中であっても、子どもに危険なものはたくさんあります。タバコ、医薬品、漂白剤、殺虫剤、燃料(灯油など)、ボタン電池などです。

誤飲したとき、どうしたらいいの？

● 誤飲したときの対処法

落ち着いて、何を飲み込んだか周囲にあるものから推測してください。
灯油など揮発性のある石油製品、漂白剤、強い酸やアルカリの製品などは、吐かせるとかえって危険ですので、そのまま診察を受けましょう。
飲み込んだものの残りや吐いたもの、その容器、添付説明書などは、診察を受けるときに必ず持参するようにしましょう。

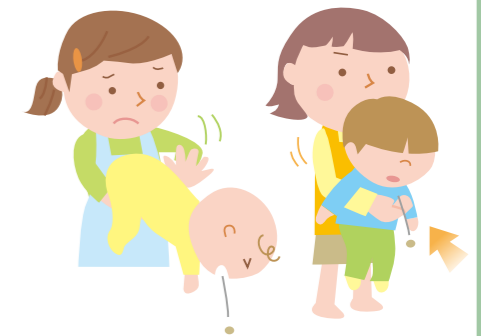
● 少量であれば心配ないものもある

フローチャートにあるように、少量であれば心配ないものもあります。しばらくお家で様子を見て、症状があるようであれば医療機関を受診しましょう。

● 吐かせ方、ノドに詰まらせているとき

吐かせるには、指をノドの奥に入れ、舌を押し下げます。
また、ノドに詰まらせているときは、

- ① 頭を下にして背中を叩く
- ② 後ろからお子さんのお腹の前で指を組み、お子さんのお腹を上後ろ方向に強く引き上げる



タバコの誤飲

● タバコを誤って飲み込んでしまったら

「タバコを食べてしまった」といっても、あまりのニガさのために普通は1cmも食べてはいませんが、その場に残っているものを確認しましょう。
それから、お子さんが飲み込んでいるかもしれませんので、吐かせてみます。
吐いたものの中に、タバコの葉が1、2枚程度であれば、あわてないで大丈夫ですが、2cm以上食べたようでしたら、できるだけ早く医療機関を受診しましょう。
水は絶対に飲ませないでください。水に溶け出したニコチンは、急激な症状を引き起こします。
もし万が一、タバコの灰皿の汁や、タバコの吸い殻の入ったジュースの残りを飲んだ場合は、大至急医療機関で診察を受けましょう。

● 誤飲の場合の応急処置は

異物を飲んだときの応急処置は、種類によって対応が異なりますので、分からない場合は、(公財)日本中毒情報センターに問い合わせる相談しましょう。

中毒 110 番 (情報提供料：無料)

大阪中毒 110 番 072-727-2499 (365日 24時間)

つくば中毒 110 番 029-852-9999 (365日 9～21時)